

2019年12月期第3四半期

(2019年1月1日～2019年9月30日)

決算補足資料

2019年11月1日
株式会社電通国際情報サービス

COPYRIGHT INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL-DENTSU LTD.

(1) 2019年12月期 第3四半期連結業績

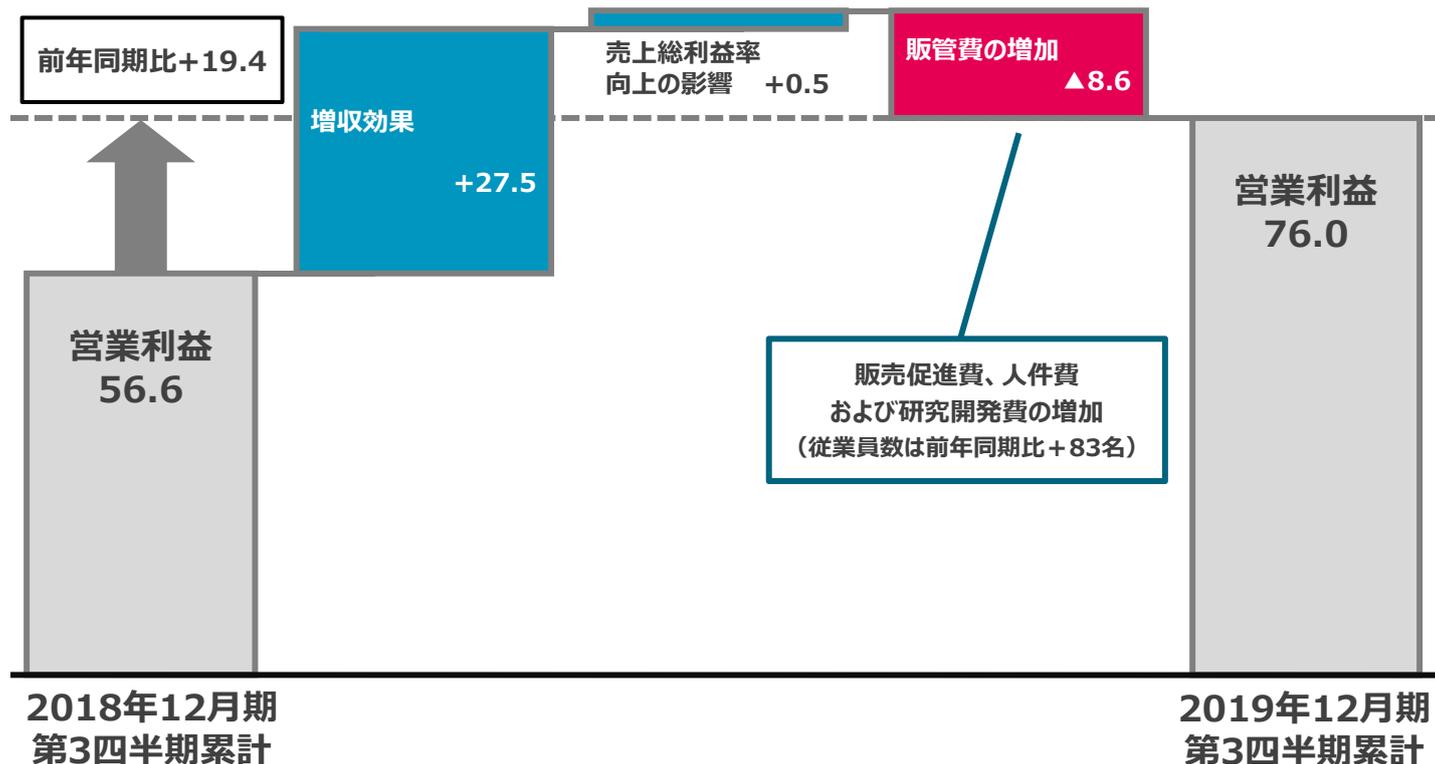
- 全セグメントが好調に推移したことにより増収増益
- 売上高およびすべての利益項目が第3四半期累計として過去最高

(単位：百万円)

	2019年12月期 第3四半期累計	前年同期との比較		
		前年同期	増減額	増減率(%)
売上高	72,963	64,625	+8,338	+12.9
売上総利益	24,146	21,337	+2,809	+13.2
売上総利益率	33.1%	33.0%	+0.1p	-
販売費及び一般管理費	16,543	15,675	+868	+5.5
営業利益	7,602	5,662	+1,940	+34.3
営業利益率	10.4%	8.8%	+1.6p	-
経常利益	7,539	5,675	+1,864	+32.9
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,160	3,788	+1,372	+36.2

(2) 営業利益の増減要因【前年同期比】

(単位：億円)



(3) 事業セグメント別売上高および営業利益

(単位：百万円)

事業セグメント	2019年12月期 3Q累計	前年同期との比較		概況	
		増減額	増減率(%)		
金融ソリューション	売上高	18,409	+2,079	+12.7	政府系金融機関および事業会社向けの案件が拡大し、増収。利益は、一部のシステム開発案件において外注費を中心に原価が増加したものの、增收効果により増益
	営業利益	1,301	+68	+5.5	
	%	7.1%	▲0.5p	-	
ビジネスソリューション	売上高	14,245	+2,513	+21.4	「POSITIVE」、「STRAVIS」および会計/ERP分野におけるソフトウェアの販売・導入が拡大し、增收増益
	営業利益	1,658	+1,302	+365.7	
	%	11.6%	+8.6p	-	
製造ソリューション ※エンジニアリング ソリューションより改称	売上高	21,982	+337	+1.6	製品開発プロセスの変革支援コンサルティング、CAEおよびスマートファクトリー領域におけるソフトウェアの販売・導入が拡大し、增收。利益は、人員増により人件費が増加し、減益
	営業利益	1,472	▲401	▲21.4	
	%	6.7%	▲2.0p	-	
コミュニケーションIT	売上高	18,326	+3,410	+22.9	電通グループの大型基幹システム更改案件が始まったことに加え、電通グループとの協業ビジネスが公共向けを中心に大幅に拡大し、增收増益
	営業利益	3,170	+972	+44.2	
	%	17.3%	+2.6p	-	

(4) サービス品目別 連結売上高

(単位：百万円)

サービス品目	2019年12月期 3Q累計	前年同期との比較		概況
		増減額	増減率(%)	
コンサルティングサービス	5,075	+412	+8.8	製造ソリューションおよびコミュニケーションITセグメントが拡大
受託システム開発	21,544	+4,958	+29.9	金融ソリューションおよびコミュニケーションITセグメントが拡大
ソフトウェア製品	12,367	+1,436	+13.1	「POSITIVE」「STRAVIS」「iPLAss」等が拡大
ソフトウェア商品	21,494	+1,432	+7.1	Salesforceソリューションおよび会計/ERP分野が拡大
アウトソーシング ・運用保守サービス	6,736	+42	+0.6	ビジネスソリューションセグメントが拡大
情報機器販売・その他	5,743	+57	+1.0	製造ソリューションセグメントが拡大

※ iPLAss…マーケティングプラットフォーム

(5) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2019年 9月30日	2018年 12月31日	増減額	主な増減要因
流動資産	66,784	64,668	+2,116	前渡金の増加 (+2,222) 預け金の増加 (+1,983) 仕掛品の増加 (+1,323) 売上債権の減少 (▲3,302)
固定資産	18,392	15,604	+2,788	関係会社株式の増加 (+1,763) 有形固定資産の増加 (+373) 繰延税金資産の増加 (+336)
資産合計	85,176	80,273	+4,903	
流動負債	28,534	26,551	+1,983	前受金の増加 (+1,660) 仕入債務の増加 (+1,056) 未払消費税等の減少 (▲221) 未払法人税等の減少 (▲824)
固定負債	2,939	2,755	+184	
負債合計	31,474	29,307	+2,167	
純資産合計	53,702	50,966	+2,736	利益剰余金の増加 (+2,879)
負債純資産合計	85,176	80,273	+4,903	

(6) 受注高・受注残高

受注高 : ビジネスソリューションおよびコミュニケーションITセグメントの受注が増加したことにより、2018年12月期第2四半期に獲得した政府系金融機関向け案件(65億円)の反動減をカバーし、前年同期比で増加
 受注残高 : 反動減が生じた金融ソリューションを除くすべてのセグメントが、前年同期比で増加

(単位:百万円)

		受注高		受注残高	
		2019年12月期 3Q累計	前年同期比 増減率(%)	2019年12月期 3Q累計	前年同期比 増減率(%)
事業セグメント別 内訳	金融ソリューション	16,187	▲30.1	9,340	▲22.5
	ビジネスソリューション	16,543	+35.5	7,896	+22.0
	製造ソリューション	24,085	▲1.4	12,321	+9.8
	コミュニケーションIT	22,883	+41.1	8,606	+48.8
サービス品目別 内訳	コンサルティングサービス	5,205	+1.4	1,030	▲1.0
	受託システム開発	22,599	▲6.7	10,932	▲6.2
	ソフトウェア製品	14,951	+38.1	7,179	+38.4
	ソフトウェア商品	23,593	+4.5	13,202	+12.8
	アウトソーシング・運用保守	7,994	+20.3	2,745	+13.4
	情報機器販売・その他	5,357	▲19.1	3,074	▲12.7
	合計	79,701	+4.8	38,164	+7.4

業績予想

注) この資料に記載しております業績の予想数値は、業界の動向、顧客の状況、その他現時点で入手可能な情報による判断及び仮定により算出した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、予想に内在する不確定要因や内外の状況変化等により、実際の業績は当該予想とは異なる場合がありますのでご承知おください。

2019年12月期 業績予想

- 第3四半期累計期間の業績は期初計画を上回る水準で推移しているものの、第4四半期の動向を精査中であることから、現時点では2019年2月8日に発表した通期業績予想を据え置く

(単位：百万円)

<参考値>

	通期	前期比			通期業績予想に対する3Q進捗率
		前期	増減額	増減率(%)	
売上高	93,000	91,024	+1,976	+2.2	78.5%
営業利益	8,500	8,239	+261	+3.2	89.4%
営業利益率	9.1%	9.1%	-	-	-
経常利益	8,408	8,197	+211	+2.6	89.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,683	5,187	+496	+9.6	90.8%

2019年12月期 業績予想 (事業セグメント別)

(単位：百万円)

<参考値>

	通期	前期比			通期業績予想に対する3Q進捗率
		前期	増減額	増減率(%)	
金融ソリューション	23,790	23,242	+548	+2.4	77.4%
ビジネスソリューション	17,630	16,810	+820	+4.9	80.8%
製造ソリューション	30,648	29,252	+1,396	+4.8	71.7%
コミュニケーションIT	20,833	21,718	▲885	▲4.1	88.0%
合計	93,000	91,024	+1,976	+2.2	78.5%

2019年12月期 業績予想（サービス品目別）

(単位：百万円)

<参考値>

	通期	前期比			通期業績予想に対する3Q進捗率
		前期	増減額	増減率(%)	
コンサルティングサービス	6,333	6,818	▲485	▲7.1	80.1%
受託システム開発	25,269	24,188	+1,081	+4.5	85.3%
ソフトウェア製品	15,763	15,070	+693	+4.6	78.5%
ソフトウェア商品	29,189	27,261	+1,928	+7.1	73.6%
アソシエイト・運用保守サービス	8,945	9,555	▲610	▲6.4	75.3%
情報機器販売・その他	7,498	8,130	▲632	▲7.8	76.6%
合計	93,000	91,024	+1,976	+2.2	78.5%

主要プレスリリース <2019年8月～2019年10月>

8/8	ネットスマイルとAI-OCRで提携
8/8	“どのスポーツに向いているか”AIが提案する「DigSports」を製品化
8/9	シビラとブロックチェーン技術を用いて教育分野におけるコミュニティの可視化と長期的な関係維持を検証
8/27	LINE法人向けサービスの販売・開発パートナー認定プログラムにおいて「LINE Account Connect」部門の「Technology Partner」の認定を取得
9/12	Augmentation Bridgeとの資本・業務提携によりRPA事業を拡大
9/20	訪日外国人向け観光型MaaS「くるとり奈良」実証実験を開始
9/26	ぺんてるにサイバーセキュリティ製品「AppGuard」を提供
9/27	65歳定年制を導入
10/8	早稲田大学と学術交流協定を締結
10/11	ダイダンとシェアオフィス向けオフィス管理・制御システム「スマートスペースプラットフォーム」をCEATEC2019に出展
10/15	「DigSports」を山形県「旧長井小学校 第一校舎」に納入
10/16	「CAM-TOOL for NX」の提供を開始
10/21	立命館大学と、革新的な新商品・新サービス創出のための「意味のイノベーション」を支援するITサービス共同研究を開始
10/25	グローバルウォーカーズとアノテーション事業で資本・業務提携
10/29	本格焼酎メーカーの霧島酒造にサイバーセキュリティ製品「AppGuard」を提供
10/30	ANAにおいてAIによる要因分析ツール「CALC」の検証を開始
10/31	地域貢献活動をアプリでスコア化、「AYA SCORE」実証実験を宮崎・綾町で開始